

これが本番! ジュニアボランティア

ランティ ニュース



ランティ
「ランティ」は、福井県の
ボランティア・シンボルです



6月25日から開講されていた「ジュニアボランティア教室」が、10月15日に閉講式を終えました。期間中、参加した市内の児童・生徒19名は、ボランティア活動体験を通じてそれぞれが福祉のたいせつさを学びました。

先月号から、受講生が期間中に感じたことなどをまとめた感想文を紹介しています。

入賞おめでとうございます!

10月29日、福井県社会福祉大会にて「福井県ボランティア作文コンクール」および「福井県共同募金推進ポスターコンクール」の入賞者の発表と表彰が行われ、勝山市からも4名のかたが入賞されました。受賞者のみなさん、おめでとうございます。

福井県ボランティア作文コンクール (応募総数 42点 小学校の部のみ)

- 小学校の部 優秀賞 (福井県社会福祉協議会長賞)
成器南小学校 4年 中村 滴さん
- 小学校の部 入選
成器西小学校 5年 小田 雄大さん

福井県共同募金推進ポスターコンクール (応募総数 162点)

- 福井県共同募金会長賞
鹿谷小学校 6年 黒瀬 公雅さん
- 佳作
村岡小学校 6年 福本 ちひろさん

あたたかいお志をありがとうございました ボランティアセンターへの金品・物品のご寄付を いただいたかたがた (順不同)

- 金品のご寄付
前川 勇様 金 10,000円
松村好文堂様 郵便葉書 2,000円相当
- 物品のご寄付 (ご芳名のみ掲載)
杉俣 高嶺様 匿名のかた 2名

アルミ缶・プルトップ収集ボランティアのみなさまへ

12月から3月までの間、教育会館回収ボックスでのアルミ缶・プルトップ回収は、都合によりお休みします。大変ご面倒をおかけしますが、市社会福祉協議会事務局(福祉健康センター「すこやか」内)までお届けくださいますようお願いいたします。

「教室に参加して…」～受講者の感想文より～その2

鹿谷小学校1年 宇佐美雄也さん
みみのきこえない人とはなしができるといことは、素晴らしいことだとおもいました。それに1ねんせいでほくのかよっているがこうで、しゅわをできる人がそんなにいないのでしゅわができるようになってからうれしいなとおもいました。

成器西小学校6年 出口 美鈴さん
私は、ジュニアボランティア教室に入ってとても楽しかったです。楽しかったことは、友だちもふえ、それに、障害者の人とも、一しょに会話ができたことです。それに手話や、手話コーラスも二つ以上もおぼえられました。手話は、にている物が多かったので、おぼえやすかったです。これからもつづけていきたいです。

成器南小学校6年 梅田 悠花さん
私はジュニアボランティアに友達と参加をして、今までたくさんの人とふれあってきました。ぼ金活動のところで手話をしたり、たくさんの方とのふれあいの場でした。たくさんの方々とふれあえて、とてもいい思い出になりました。

村岡小学校3年 相羽 豊さん
ジュニアボランティアの(一環で参加した)アスペン音楽さいで、きんちょうしたけれど顔みしりの人がいたので楽しくできました。また来年あればやりたいです。

成器南小学校6年 廣田 智那さん
手話をやってみて、むずかしい所もたくさんありましたが、歌に合わせてしてみると、できるようになりました。一つ一つの言葉の意味が少しでも分かるようになりました。手話が少しできたのでうれしかったです。

北郷小学校5年 近藤 里菜さん
私は、ジュニアボランティアが一番心に残った事があります。九頭竜ワークショップでボランティアをした事です。ラウンジという所で、おつまみ、のみ物などはこぶボランティアの人たちといっしょにしました。思ったよりも、はこぶのがたいへんでした。でも、障害をもった人が、にこにこ楽しそうにやっていました。ずっと今も心に残っています。ときどき、お年よりを見るとその所が思いうかびます。まだ、5年生だけど、大きくなっても、ふくしを学びたいと思います。

社協からこんにちは!

勝山市障害者生活支援センターだより

障害をもつかたの生活を一緒に考えるセンターです。

障害者支援センター講座2回目

「障害者自立支援法」が国会を通過成立し、来年4月にはいよいよ新しい法律が施行されます。支援センターでは皆さんに自立支援法を知っていただくことを目的に講座を開催いたします。みなさん一緒に学びましょう。

日時 平成18年1月18日(水) 午後1時30分～3時30分
場所 勝山市福祉健康センター「すこやか」
内容 「障害者自立支援法による改革」
ーサービスを使うには、どうしたらいいの?ー

講師 福井県福祉総合相談所 障害者相談課 企画主査 光真坊 浩史 氏
アドバイザー 福井県障害福祉課

対象者 障害をもつかたおよびその家族、保健・福祉・教育関係職員、障害者福祉施設職員
ケアマネジメントに携わっているかた、関心のあるかた

☎ 勝山市障害者生活支援センター(勝山市社会福祉協議会内) ☎88-1177(長谷川み)

主催: 奥越健康福祉センター・勝山市障害者生活支援センター
大野地区障害者生活支援センター・奥越地区障害児者生活支援センター(地域療育等支援事業)



スポーツあれやこれや障害者スポーツ紹介コーナー

④ アルペンスキー編

冬のスポーツを代表するスキー競技であるアルペンスキーには、ダウンヒル、スーパーG、ジャイアントスラローム、スラロームの4種目があります。選手は、障害の種類や程度によってグループ分けされ、グループごとに競技を行います。ただし、同一グループであっても障害の種類や程度が異なるため、障害による不公平がでる可能性があってはいけないので、各選手にはクラスごとに設定された係数(%)があり、滑走タイムに係数を掛けた計算タイムで勝敗が決まります。

また、諸具合に応じた用具の工夫やルールの変更を行っていて、たとえば車椅子使用者などの両下肢障害者は、1本のスキー板にサスペンション機能やバケットシート装着

した「チェアスキー」を使用し、2本のアウトリガー(先端に小さなスキー板がついたストック)を操作して滑走します。

片大腿切断のように1本のスキーで競技を行う場合には、バランスを保持するためにアウトリガーを使用しています。視覚障害者の場合は、ガイドスキーヤーが音源などを利用してコースを誘導することが認められています。



両下肢障害者の競技「チェアスキー」

福祉総合相談所からお知らせ

毎月第2・第4水曜日に行っています無料法律相談ですが、12月は第2水曜日のみ開催となります。お間違えのないようお願いいたします。

12月14日(水)午後1時半～4時半まで(要予約)

「社協からこんにちは!」
「ランティニュース」に関するお問い合わせは
社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会
(☎88-1177) 勝山市福祉健康センター
「すこやか」内

福井県立盲学校 入学案内

福井県立盲学校では、病気や事故などによる中途での失明や、視覚障害で悩んでいるかたがたに自立更正の道を手伝っていただけるよう、卒業後に理療師(あんま・マッサージ・指圧師など)国家試験の受験資格が取得できる学科を設けております。

身体条件 ●両眼の矯正視力がおおむね0.3未満のもの
●視力以外の視機能障害が高度のもののうち拡大鏡等を使用しても通常の文字や図形を認識することが不可能または著しく困難なもの

出願期間 平成18年1月20日(金)～1月30日(月)まで
受付時間は土日を除く、午前9時から午後4時まで。

問い合わせ先 福井県立盲学校 入学選考係 ☎0776-54-5280